

## 12月議会 高木まりの質問から(抜粋)

### 赤字の競輪事業、見直しへ一歩

とうとう合併以来3年連続で赤字が続いている競輪事業。赤字は翌年の売上げから前借りをするという「繰上充用」という形の補正予算で毎年手当てされてきているのですが、その度に議会からは疑問の声が上がっていました。

今回高木は、競輪事業の詳細にわたり質問を展開。さいたま市の担当者による経営努力はほぼ尽くされており、これ以上問題を希望的観測に基づいて先送りにはしては、重大な結果を招きかねないことを指摘しました。

その結果、これまで「経営努力をするので続けることを理解してほしい」との答弁しかなかった行政から、「多角的な検討を行う」という見直しを含む一歩を踏み出した回答を引き出すことに成功しました。担当課の努力だけではどうにもならない事態に、トップの決断が下った形で、良い方向への展開を期待したいと思います。

(表)さいたま市競輪事業特別会計実質収支額 (単位:千円)

H13年度	H14年度	H15年度
61,974	63,781	102,526

この実質赤字を翌年の売上げから前借りする「繰上充用」によって補填している。

### さいたま市の観光政策は大丈夫か

最近市長の発言の中に「タワー、鉄道博物館、盆栽、ジョンレノンミュージアム、岩槻人形などの豊かな資源を生かして、回遊性を持たせた観光ルートの開発を」との趣旨の発言を聞く機会が増えていましたが、高木が不安に感じたのは、「色々ありますから来てください」だけでは成功しないということでした。それぞれのスポットは客層が異なり、「回遊性」は簡単なことではありません。

そもそも観光などのレジャーの分野には「官」の発想には限界があり、餅は餅屋としての「民」のセンスとノウハウを借りずして中途半端な投資を行うには、無理があるのではないのでしょうか。この点につき質問をし、観光ビジョン策定の際には民のノウハウを積極的に活用していく旨の回答を得ました。今後の経過についても、チェックを続けていきたいと思っています。

### 視察報告

\*人口の100倍観光客を呼ぶ町 = 小布施のパワーは「民」パワー  
~行政と市民の絶妙なコラボレーション~

昨年12月議会前に行った視察の中でも小布施視察は大変印象深いものでした。視察目的は、人口12000人でありながら観光客が年間120万人も訪れるという町にあって、市民がいかなるパワーを発揮し、行政がそれにどう関わったかを学ぶこと。市民が街づくり活動の為に作った株式会社「ア・ラ・小布施」の関部長にお話を伺いました。

町おこしは、戦後一時9000人まで人口が落ち込んだことをきっかけに新住民受け入れ策を行政がとったことから始まりますが、次は民パワーで町の菓子老舗数軒が修景事業に取り組むことで「栗と北斎と花のまち・小布施」の核づくりが行われていきます。町が次いで修景条例を作り、これをバックアップ。町民も町的美観への関心が高まって、ついには自宅の庭を美しく造って観光客に開放する「オープンガーデン」に参加するまでに活動は広がりました。

ポイントは、市民一人一人が町に誇りを持ち、町づくりを楽しみ、パワーを発揮していること、行政がそれをうまくサポートしつつ、出過ぎない連携を取っていることと感じました。さいたま市にとっても、大変参考になる事例でした。

詳しくは、HPに報告を掲載しています。

▶ <http://www.marit.jp>

## 2月議会は2/15(火)スタート!

2月議会では、各党派からの代表質問の他、予算委員会も開かれます。民主等さいたま市議団の代表質問は田中通之議員が、予算委員会は高柳議員が担当する予定です。高木が直接質問に立つ場面はありませんが、質問の内容づくりの段階で子育て支援策関連など、関わっていくこととなります。ご注目ください。

## <特別企画>高木まり市政報告会・プロジェクトミーティングのお知らせ

今回は新年の特別企画として、ゲストをお招きし、先進的な取組みで話題の志木市長とその施策について、志木市議の山崎東吉さんに語っていただきます。いつもの会と同様、予約や会費は不要です。ぜひお気軽にふるって出かけください。

と き: 1月22日(土)午後2時~4時

ところ: 大宮ソニックシティ会議室906号室 いつもの会場が異なりますので、ご注意ください。

テーマ「富士山は遠くから見るに限る~市議会から見た穂坂市政について~」

ゲスト: 山崎東吉 志木市議